

●日本及びその周辺での主な地震活動

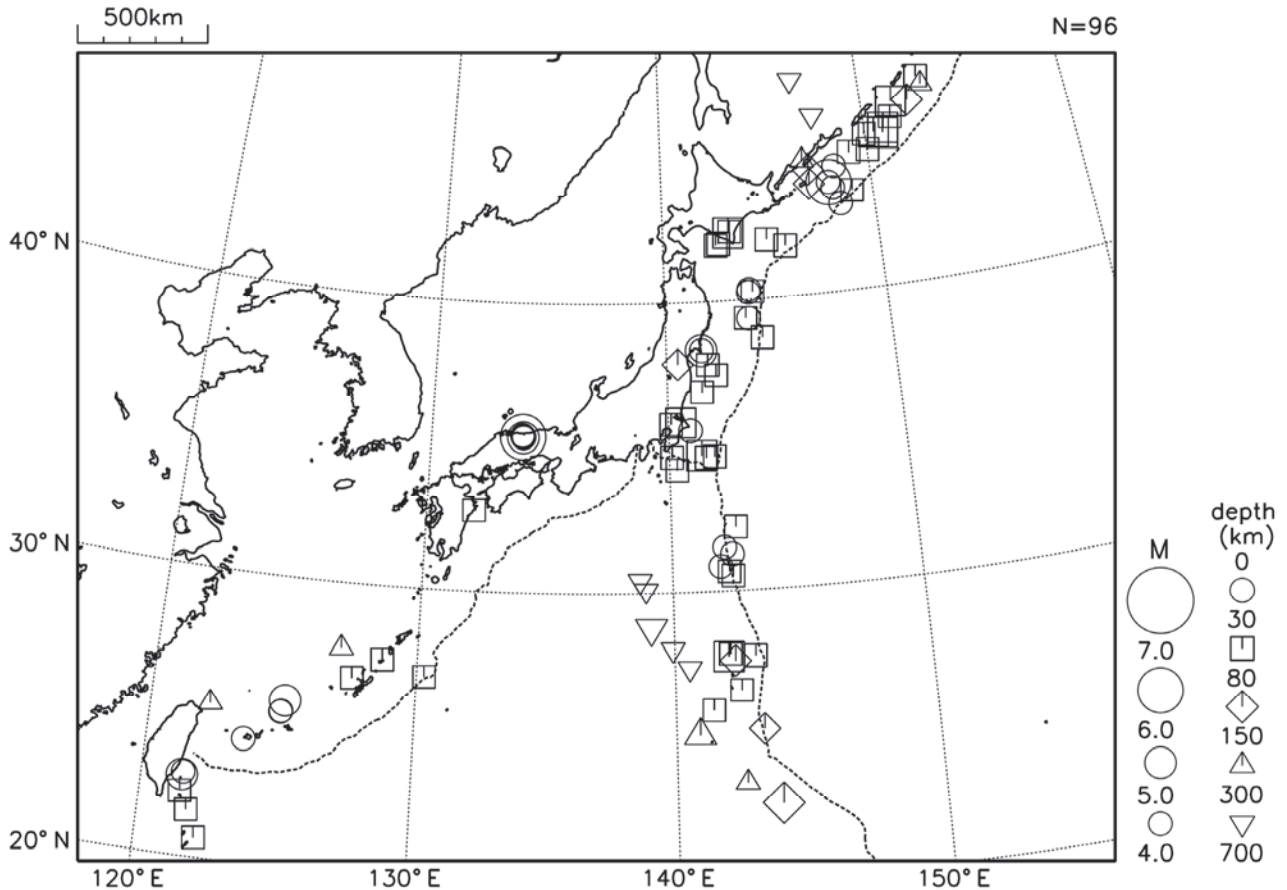


図 1 平成 28 年 10 月に日本及びその周辺で発生した M4.0 以上の地震の震央分布図

10 月 16 日 16 時 37 分に、宮城県中部で M5.2 の地震が発生し、気象庁は緊急地震速報（警報）を発表した。この地震により、宮城県涌谷町、登米市、石巻市、女川町で震度 4 を観測したほか、東北地方から関東地方および新潟県にかけて震度 3～1 を観測した。

10 月 21 日 14 時 07 分に、鳥取県中部で M6.6 の地震が発生し、気象庁は緊急地震速報（警報）を発表した。この地震により、鳥取県倉吉市、湯梨浜町、北栄町で震度 6 弱を観測したほか、中国地方を中心に、関東地方から九州地方にかけて震度 5 強～1 を観測した。この地震により、負傷者 28 人、住家全壊 2 棟、住家半壊 3 棟などの被害が生じた（11 月 2 日現在、総務省消防庁による）。また、ほぼ同じ場所で、21 日 14 時 53 分に M5.0 の地震が発生し、気象庁は緊急地震速報（警報）を発表した。この地震により、鳥取県鳥取市、湯梨浜町、北栄町、岡山県鏡野町で震度 4 を観測した。

平成 28 年(2016 年)10 月に日本国内で震度 4 以上を観測した地震の回数は 13 回(9 月は 5 回)、日本及びその周辺で発生した M4.0 以上の地震の回数は 96 回(9 月は 102 回)であった。

10 月中に発生した主な地震を表 1（次ページ）に示す。10 月中に震度 5 弱以上を観測した地震は 1 回であった。津波を観測した地震はなかった（9 月は震度 5 弱以上を観測した地震は 1 回であった。津波を観測した地震は 1 回あった）。

「平成 28 年（2016 年）熊本地震」の地震活動は、全体として引き続き減衰しつつも、活動は継続している。今回の一連の地震活動により、死者 139 人、負傷者 2,581 人、住家全壊 8,298 棟などの被害が発生した（10 月 27 日現在、総務省消防庁による）。

表 1 平成 28 年 10 月に日本及びその周辺で発生した主な地震 (注 1) (注 2)

No.	震源時 月 日 時 分	震央地名	M (注 3)	M _w (注 3)	M H S T (注 4)	最大震度・被害状況等 (注 5)	掲載 ページ
1	4/14～					「平成 28 年 (2016 年) 熊本地震」 震度 1 以上を観測する地震が 55 回 (震度 3 : 4 回、震度 2 : 10 回、震度 1 : 41 回) 発生し、このうち最大規模の地震は、10 月 10 日 03 時 54 分と 11 日 06 時 45 分に発生した M3.8 の地震 (最大震度 3) 被害 : 死者 139 人、負傷者 2,581 人、住家全壊 8,298 棟など (10 月 27 日現在)	4、 15～16
2	10 12 4 2	日高地方東部	5.0	5.0	・ ・ ・ ・	3 : 北海道 浦幌町桜町* 青森県 東通村砂子又沢内* など 1 道 1 県 14 地点	4、7
3	10 16 16 37	宮城県中部	5.2	4.7	・ ・ S ・	4 : 宮城県 涌谷町新町裏 など 1 県 6 地点 緊急地震速報 (警報) を発表	4、10
4	10 20 11 49	千葉県北東部	5.3	5.3	・ ・ S ・	4 : 茨城県 神栖市溝口* 千葉県 成田市花崎町 など 2 県 22 地点	5、12
5	10 21 14 7	鳥取県中部	6.6	6.2	M H S ・	6 弱 : 鳥取県 北栄町土下* など 1 県 3 地点 緊急地震速報 (警報) を発表 被害 : 負傷者 28 人、住家全壊 2 棟、住家半壊 3 棟、住家一部破損 10,816 棟など (11 月 7 日現在)	62～77
6	10 22 3 33	大分県南部	4.4	4.6	・ ・ S ・	4 : 大分県 佐伯市上浦*	5、17
7	10 24 5 25	北海道東方沖	6.0	5.9	M ・ ・ ・	2 : 北海道 根室市落石東* など 1 道 5 地点	5、8

(注 1) 主な地震とは、図 1 の領域内で発生した①M6.0 以上、②震度 4 以上、③内陸 M4.5 以上かつ震度 3、④海域 M5.0 以上かつ震度 3、⑤その他注目した地震を指す。ただし、10 月 21 日以降に発生した震央地名が鳥取県中部の地震は震度 6 弱以上を観測した地震のみ記載した。

(注 2) 震源時、震央地名、マグニチュードは再調査後、修正することがある。

(注 3) M_w欄の「-」は M_wが求められていないことを示す。また、空欄については、複数の地震による活動のため、記載していない。

(注 4) M H S T の各項目について、M: M6.0 以上の地震、H: 被害を伴った地震、S: 震度 4 以上を観測した地震、T: 津波を観測した地震、として該当項目にそれぞれの記号を記した。

(注 5) 最大震度の観測点名にある*印は地方公共団体もしくは国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点であることを表す。被害状況について出典の記載がないものは総務省消防庁による。

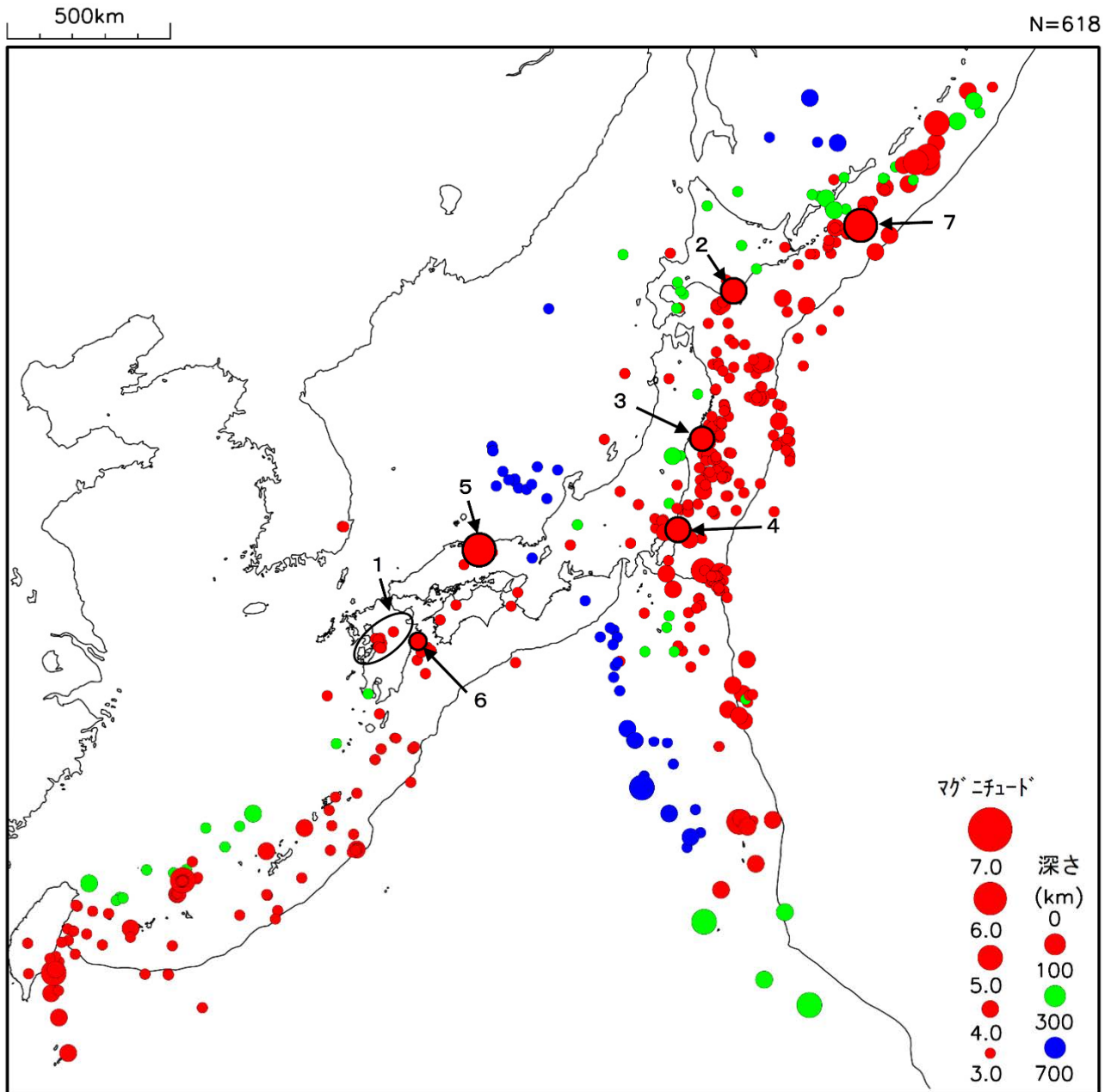


図2 平成 28 年 10 月に日本及びその周辺で発生した M3.0 以上の地震の震央分布図
(図中の数字は表 1 の番号に対応)